

第3回 長沼町子ども・子育て会議 概要	
日時	令和7年3月5日(水) 午後6時00分～午後7時20分
場所	総合保健福祉センターりふれ 三世代交流室
出席委員	黒田泰明委員、小泉めぐみ委員、八柳圭委員、細田孝哉委員、古澤めぐみ委員、坂下貴子委員、宮北佳苗委員、谷渕友美委員、藤川和信委員、渡部治委員、坪田健志委員
欠席委員	宮川玲佳委員
事務局	子ども育成課 武田課長、三浦理事、白川補佐、廣川係長、大塚係長、杉山主事
傍聴者	なし
議題	1 開会 2 議事 (1) 第3期長沼町子ども・子育て支援事業計画(案)に係るパブリックコメントを踏まえた対応方針について (2) 文言修正について (3) 答申(案)について 3 その他 4 閉会

## 会議録

### 1 開 会

委員 12 名中 11 名出席

委員の過半数が出席していることにより会議が成立していることを報告

### 2 議 事

(1) 第 3 期長沼町子ども・子育て支援事業計画（案）に係るパブリックコメントを踏まえた対応方針について（事務局より説明）

- ・ A 委員～14 番。計画策定の主旨について、町の目指すことが漠然としているのもっとわかりやすいものにしていくべき。
- ・ 事務局～いろいろな部署で計画策定をしており、各課情報共有しながらご意見を参考にしていきたい。
- ・ A 委員～16 番。町民の知りたいことが数値化されて記載されていない。主食の地元産割合など、この計画を見たらわかるように数字を入れてほしい。献立表は小中学生の保護者しか見ないので、就学前の子どもを持つ家庭も見てわかるように入れてほしい。
- ・ B 委員～給食だよりに記載はあるが、子どもには理解できないと思う。子ども目線で分かるような表記にして、食育を進めてほしい。
- ・ 事務局～「ながぬまの教育」の冊子には掲載されているが、教育委員会に確認して数値を記載するか検討する。
- ・ C 委員～1 番。キッズ版は次回への検討課題であるということだが、どのくらいの年代を対象にすると考えているか。
- ・ 事務局～内容の理解を考えると、小学校高学年くらいが対象になっていると受け止めている。
- ・ 会 長～今後は計画策定を早めて、キッズ版や概要版もできるようになるかと思う。他になければ、この内容でホームページに公表する。（異議なし）

(2) 文言修正について（事務局より説明）

- ・ A 委員～P 44、施策 40。「解消に努めます」が「軽減を図ります」に修正になっているが、軽減だと少なくなるだけであまりよくないのかなと思った。
- ・ 事務局～子育て支援をいくらしても、育児不安を「解消する」ことは難しいと考え、この表現にさせていただいた。
- ・ A 委員～P 46、施策 55。指導員の資質向上について、何がどうしたら「向上」になるのか。どんなことを取り組んでいくのか。
- ・ 事務局～学童の指導員や保育士、幼稚園教諭等が合同で受ける研修会を開催し、子どもの対応方針等をテーマに講義をいただいて、資質の向上を図っている。今後も内容の充実について、回数やテーマなど検討していきたい。
- ・ A 委員～P 45、施策 53。子育て短期支援事業で、児童養護施設はどこになるか。
- ・ 事務局～北広島市の天使の園、岩見沢市の光が丘学園への委託を考えている。その他に町内には里親もいる。

- ・ A委員～里親の登録や周知はされているのか。
- ・ 事務局～道で作成したポスターで周知、一般的には里親の公表はされていない。
- ・ 会 長～そのような事案がないことを祈りたいが、あった場合には連携が取れているということで理解した。文言修正については、これでよろしいか。(異議なし)

(3) 答申(案)について(事務局より説明)

- ・ 会 長～事務局案に修正意見がなければ、町長へ答申と計画案を提出するがよろしいか。(異議なし)
- ・ A委員～その他として。子どもを育てるための事業にお金をかけてほしい。当事者意識をもって未来の子にお金を使ってほしい。

3 その他

- ・ 事務局～今後のスケジュールについて説明。

パブリックコメントを踏まえた対応方針の公表を3月中にホームページで行う。本日協議した計画書案の内容で、法律に基づき北海道庁に協議を行う。その後、会長と副会長から町長へ計画案の答申を行う。答申後計画書が完成したら委員の皆さんにお配りする。今年度の会議は本日が最後となり、委員皆様の任期は本年6月末までとなっているが、令和7年度に会議開催の予定はないため、本日で任期期間中の会議予定は全て終了となる。いただいたご意見等、次期計画に向けての宿題も残っているので、役場各課肝に銘じて各種政策に取り組んでいく。2年間に渡り、お忙しい中委員としてご協力いただき、大変ありがとうございました。

- ・ D委員～パブリックコメント18番について確認したい。こども110番の家について。子どもはどこに行ったらよいか知っているのか。いざという時分かるのか。
- ・ 事務局～担当課に確認したところ、地図の配布が20年位前であり、学校にも貼っていない。情報を修正し、作り直してホームページで公開予定とのこと。実施主体は防犯協会、今年5月開催予定の総会で審議した後、10月頃の公表になるのではないかという回答だった。
- ・ A委員～区長さんが担っている区もあるので、情報が変わると思う。町のLINEでも情報発信して更新いただければ、ホームページ公表を待たずにすぐできることもある。
- ・ D委員～何かあった時にどこに連絡したらよいか、という説明が具体的にされているのか不安がある。自分の子どもには帰るルートで何か所か、駆け込む所を伝えている。助けを求めることを躊躇する子もいると思うので「駆け込んでよい。」と家庭でも学校でも指導してほしい。
- ・ E委員～学校では、不審者対策で「どこでもいいから、駆け込みなさい。」「近くの大人に助けを求めなさい。」と指導している。110番の家を探してウロウロしないよう。この事業はどこの地域でも難しいが、できることからやってくれると思う。学校にもそのような地図があると安心。
- ・ 事務局～担当課にご意見を伝える。

